

2021年10月号

山形県最上総合支庁 隔月発行
最新情報はツイッターでご覧ください



鮭川名物
きのこしゃぶしゃぶ

子どもたちが一日知事に就任！

子どもたちが吉村知事と交流を持ち「一日知事」を体験する「子ども知事室」が8月2日と8月5日に開催されました。最上地域からは小学5、6年生の子どもたちが各日2名参加しました。

吉村知事より一日知事の任命を受けた後、知事との交流を通して県庁の仕事を学びました。参加者からは、「知事になってから一番大変だったことは何ですか。」「今後、山形の魅力をどのようにPRしていきますか。」などの質問がされ、知事の答えをメモしながら熱心に聴き入っていました。午後は議会棟を見学し、議席や演壇などを間近で見られる貴重な機会となりました。

県では引き続き、子どもたちが希望をもって暮らし続けることができる山形県づくりに取り組んでいきます。

[子ども家庭支援課 29-1245]



まちの宝を世界に発信！「最上の魅力発見伝道師育成講座」開催

「この地域には何も無い。」ついついこのような言葉を口にしていませんか？

当たり前となっている地域の魅力に気づき、再発見してもらうことを目的に、全国から人が集まる拠点づくりや地域の本質的な魅力を発掘することを得意としている中村あつよし氏 (NPO 法人 earth cube Japan) を講師に迎え、5回連続のオンライン講座を開催しました。

講座では、最上地域で活躍する地域おこし協力隊などの実践者をゲストに“私のまちのここが魅力”ということを紹介してもらいながら、地域の魅力を伝えていく方法を学びました。

自分自身の地域を魅力的に思う人が増えることで、地域への誇りや愛情が醸成され、今後この地域に住み続けたいと思う人が増えていくことが期待されます。



[連携支援室 29-1239]

(講座のアーカイブはこちら)



進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～開催！ @鮭川小学校！！

最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小学校高学年や中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

今年度第2回目として、9月21日に鮭川小学校6年生を対象に、助産師、薬剤師、作業療法士、介護福祉士を講師にお迎えして開催しました。講師からは、仕事の内容とともにこの仕事を選んだ理由や魅力などについて講演していただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。子どもたちは、出産介助の体験や、お薬処方の作業体験、利き手ではない手でお箸を使用する体験など、興味深く取り組み、医療・介護への関心が高まったようです。[保健企画課 29-1257]



地域の大人と高校生の「医療福祉座談会」 & 「医療現場見学会」！！

8月2日、医療・介護職に関心のある高校生を対象に「医療福祉座談会」（場所：新庄市市民プラザ）を開催し、地元の医療現場で活躍する社会人から仕事の話をお聞きしました。「医師・薬剤師」「理学療法士・臨床検査技師」「看護師・介護福祉士」の3コースに分かれ、希望する職種のコースで高校生は真剣に耳を傾けていました。

また、8月6日と10日には医療職に関心のある高校生と新庄徳洲会病院の医療現場を見学しました。普段は見ることのできない医療現場を見学した後は、現場で働く看護師、理学療法士、臨床検査技師等の先生方から、多くの質問に答えていただきました。[保健企画課 29-1257]



【医療福祉座談会】



【医療現場見学会】



【医療現場見学会】

「ナスカフェ」×「看護職をめざす高校生」！！

8月18日、CAFE LABO を会場に「ナスカフェ（新規採用看護職の交流会）」と「最上地域の新人看護師と、将来、看護師をめざしている高校生との交流会」を同時開催しました。

看護師の方々は、勤務場所によって異なる看護師の業務内容等についての情報交換や、看護師としての悩みを共有するなど、病院や施設など職場の垣根を超えた交流が行われました。

また、将来、看護師をめざす高校生は、看護師の方々から受験する看護学校の選び方や、学生生活のことなど、進路選択のための貴重な情報を得ることができたようです。

参加した看護師の皆さまからは「高校生と話すことで自分がなぜ看護師を目指したのか振り返ることができた」「同じ気持ちで働いている人もいると知ることができて少し気持ちが楽になった」との感想が寄せられました。今後も、看護師の確保・育成・定着に向けた取組みを進めてまいります。[保健企画課 29-1257]



新庄神室産業高校ライフクリエイティブ部の皆さんと「地産地消メニュー」を考案しました！

最上総合支庁では、旬の食材の消費拡大、地産地消の推進を目的として、支庁内食堂「千起」と連携して毎月「地産地消定食」を提供しています。9月は新庄神室産業高校ライフクリエイティブ部の皆さんにメニューを考案してもらいました。生産者からのお話を熱心に聞いたり、試作会を行いメニュー内容を試行錯誤するなど、一生懸命活動に取り組んでいました。高校生が考案したメニューは、9月29日、食堂で提供され、大盛況のうちに終わりました。今後も地元高校生と連携した食育・地産地消の取組を積極的に行ってまいります。[農業振興課 29-1317]



叱るのではなく「いい行動」を“即”褒める！

9月1日、真室川町中央公民館にて、保育士・幼稚園教諭等を対象に、「発達障がい支援シリーズ基礎講座」及び「ペアレントサポート講座」支援者養成研修会を開催しました。講師は県立保健医療大学の佐竹特任教授です。基礎講座では講演「気になる子どもの行動理解と保護者支援」で参加者の質問を中心に、支援者の対応を学びました。また、ペアレントサポート講座は講師が考案した4回シリーズで、子どもとのかかわり方を学びながら、日常の困りごとを解消し、楽しく子育てが出来るよう支援するプログラムです。参加した支援者自身も子ども達のいい行動等についてグループでシェアしながら、楽しく学びました。

最上地域においては、発達障がいの診療に対応できる医療機関が少なく人材が限られているため、県では引続き、身近である地域の保健師や保育士等の発達障がいに係る支援・助言の対応能力の向上に取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1361]



気になる子への支援のポイント

8月31日に「第1回最上地区放課後子ども総合プラン指導者研修会」を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインでの開催となり、各施設や会場から放課後児童クラブ・放課後子ども教室の支援員など44名が参加しました。

宮城教育大学教授の植木田潤先生を講師にお迎えし、「気になる子への理解と支援」をテーマに発達障がいのある子どもへの支援について理解を深めました。参加者からは、「具体的な対応策を教えてください」とも勉強になった。「一人ひとりに合った声がけや支援をしていきたい。」などの感想が寄せられました。支援のあり方を改めて考えることのできた有意義な研修会となったようです。

県では、今後とも放課後児童クラブ・放課後子ども教室の支援員等の資質向上に取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1245]



講師：植木田先生



若者の地元定着のために ～企業見学ツアー～

8月7日、鶴岡工業高等専門学校の学生を対象に新庄・最上地区の企業見学ツアーを開催しました。協力いただいた3社から、企業概要、自社の技術を活かした製品づくりのほか、仕事のやりがいをご説明いただきました。学生からは「今勉強していること活かして活躍できる仕事があった。」「就職活動をする上で考え方が広がった。」といった感想が聞かれました。

<開催企業>

- ・山形航空電子株式会社
- ・山形東亜DKK株式会社
- ・株式会社ムトウ



[地域産業経済課 29-1307]

令和2年度優良工事等を表彰

建設技術協会最上支部では最上地域の建設技術の向上を目的に優良工事等とその担当者を表彰しています。

9月21日に最上総合支庁講堂にて功績のあった担当者5名を表彰いたしました。

表彰された方は、以下のとおり（敬称略）

- ・星川 泰志（星川建設株）
- ・小林 吉継（株最上振興）
- ・矢作 賢紀（株結城測量設計コンサルタント）
- ・丹 幸一（株双葉建設コンサルタント）
- ・村岡 広輝（道路計画課）



[建設総務課 29-1391]

保護者のための進路セミナー@新庄北高

8月31日、県立新庄北高校において、保護者の方を対象に進路セミナーを開催し、約50名の方に参加いただきました。

山形大学学術研究員の松坂暢浩准教授から、大学生の就職の現状や子どもへの関わり方などについてわかりやすく解説いただきました。また、地元企業の(株)ヤマムラ、山形航空電子(株)にご参加いただき、トークセッションも行いました。



参加者からは「地元企業の取り組みや考え方を具体的に知ることができ、大変勉強になった。」といった感想が聞かれ、地元企業への理解を深める契機となりました。

[地域産業経済課 29-1309]

女性社員が語る！ 地元で働く魅力とは？！

9月24日、県立新庄神室産業高校において、地元の様々な職場で働く5名の若手女性社員の方から仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしのことなどをお聞きする特別授業を開催しました。

先輩は、お手製の“紙芝居”を使いながら今の仕事に就いたきっかけや休日の過ごし方などを赤裸々にお話くださいました。

仕事もプライベートも充実して楽しんでいる先輩との交流を通して、生徒からは「進路選択の幅が広がった。」「地元で働きたいという気持ちがより強くなった。」「といった感想が多く聞かれました。



[地域産業経済課 29-1309]

秋の交通安全県民運動最上地区出発式

秋の交通安全県民運動の展開にあたり、9月17日に、新庄駅前ふれあい広場アピエスにて最上地区出発式が行われました。関係者約25名が集まり、交通事故防止に地域一丸となって取り組む決意をし、パトカー及び広報車両が出発しました。引き続き、関係機関と連携しながら、交通事故防止に向けて取り組んでまいります。



[防災安全室 29-1209]

～高坂ダムの流木を有効活用へ～

9月10日 高坂ダムではダム湖から引き揚げた流木の無償提供を行いました。

流木の発生が多く、引き上げた量が多い年はバイオマス発電等で活用するよう業者へ売却していますが、今年度は発生量が少なかったため

資源の有効活用と県の経費節減として希望する方々へ無償提供したものです。当日は町内外から大勢参加していただき、用意したほぼ全ての流木を配布する事ができました。



[高坂ダム管理課 63-2344]

お知らせ

第2回最上地域議員協議会

地元選出県議会議員が、地域の課題や施策展開について審議等を行いますので、どうぞお気軽にご参加ください。

当日会場で傍聴の受付をしています。



■日時 11月19日(金)15時～
■会場 最上総合支庁5階講堂
[総務課 29-1211]

最上農業賞表彰式並びに 記念講演会

日時：11月15日(月)13:30～

場所：ニューグランドホテル新庄

【表彰式】13:30～14:00

【記念講演会】14:10～15:20

テーマ「成長する農業経営」

講師 (株)黒澤ファーム

代表取締役 黒澤信彦氏

参加申込：下記の電話に
お申込みください。

[農業技術普及課 29-1322]

第2回「東北のへそ」 フォトコンテスト



インスタグラムで「東北のへそ」公式アカウントをフォローして「#第2回へそコン2021」をつけて最上地域の素敵な風景などを投稿しよう！

入賞者には「東北のへそ」地域の特産品をプレゼント！

○応募期間

12月31日(金)まで

@a_r_i_pics

さん撮影

[観光振興室
29-1312]



森の案内人養成講座・秋の講座開催！

日時：11月28日（日）
午前9時30分～午後3時30分
場所：山形県遊学の森（金山町有屋）
内容：①冬芽講座
冬芽ウォッチングで冬の樹を知ろう
②クラフト講座
木の実・木の枝・森のクラフト作り
締切：11月19日（金）



＜チラシはこちらから

【森づくり推進室 29-1350】

「おいしい適塩ランチ」第3弾

日時：10月19日（火）11:30～

場所：最上総合支庁食堂千起

減塩でもおいしく食べる工夫をお知らせし、健康的な食生活実践のきっかけとさせていただくため定期的に実施しています。今回は秋の味覚を取り入れたメニューですのでぜひお試しください。

去る9月28日、山形航空電子株式会社では社員の健康保持増進のための取組み一環として、



「おいしい適塩ランチ」を社員食堂で提供しました。「薄味だが十分おいしく食べられた。」などの感想が聞かれました。

[地域保健福祉課 29-1267]

最上 暮らしと仕事

やまがたハッピーライフカフェ
(最上)の開催！

日時：11月6日（土）11:30～
内容：勘次郎胡瓜でおなじみの高橋伸一さんをお迎えして、オンライン移住セミナーを開催します！

詳しくはこちら→

(やまがた暮らし情報館にリンク)



[連携支援室 29-1238]

最上で暮らす女性のためのシンポジウム

日時：11月14日（日）
場所：最上広域交流センター「ゆめりあ」会議室

「踏み出そう！自分らしく輝くために」をテーマとした男女共同参画シンポジウム。最上で活躍中の4人のパネリストを招き実施いたします。

参加：ゆめりあ会場又は Zoomでの参加

申込 QR コード
[子ども家庭支援課 29-1245]



10月17日(日)～23日(土)は、「薬と健康の週間」です。

医薬品は病気や怪我を治すのに役立つ一方、正しく使わなければ副作用により健康を損なうおそれがあります。

使用期間、用法、用量、保管方法などを守り、使用上の注意を十分に理解し

て、正しく使用しましょう。

医薬品について不明な点がある場合や、医薬品の服用後に問題が生じた場合には、

医師、薬剤師等の専門家に相談を！



[保健企画課 29-1257]

クマに注意！

秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。餌となるブナは今年も凶作が見込まれており、過去に人身被害が多く発生した秋を迎え、出没が予想されます。

山や林、田畑に行くときは、クマ鈴やラジオを鳴らすなどの対策を万全にして、万一クマに出合ったら、背を向けずにゆっくり後退してください。



[環境課 29-1285]

油流出事故に注意！！

冬は暖房器具の使用に伴い、灯油等が流出する事故が増える傾向にあります。

給油中はその場を離れない、給油後は元栓を再確認、タンク残量の定期的な確認など取扱いに注意しましょう。



[環境課 29-1287]

最上小国川写真コンテスト 作品募集中！

最上小国川の魅力を撮影した写真を募集中です。

■募集期間

11月30日(火)まで

■応募方法

最上小国川清流未来振興機構HPの応募フォームを使用、または総合支庁連携支援室へ送付

□詳しくはこちら（機構HP）

<https://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>

☆入賞者には、最上小国川流域の特産品等をプレゼント！

[連携支援室 29-1240]



飲食店等の事業者の皆様へ “山形県新型コロナ対策認証制度の申請受付について”

山形県では飲食店や飲食部門をもつ宿泊施設が取り組む感染対策について、県の認証基準を満たした店舗に対して「さくらんぼマーク」の認証ステッカーを交付していますが、管内の想定される事業者総数は約 500 件とされている中、現在、まだ半数程度の申請件数となっています。認証を受けると、店側、利用客側の双方にとって安心・安全な環境を構築でき、また、認証に必要な備品の購入費用に県の補助制度を利用することもできますので、申請がまだお済みでない事業者の皆様にはぜひ申請いただきますようお願いいたします。



[新型コロナ対策認証担当 29-1209]

【新型コロナウイルス感染症についてのごお願い】

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置は9月末で終了となり、県内の新規感染者数も少なくなっていますが、感染力の強い変異株によるリバウンドを警戒する必要があります。引き続き、以下のことについてご理解、ご協力をお願いします。



1. 感染防止対策の徹底について

- ・不織布マスクの着用、こまめな手洗い、消毒、三密（密閉・密集・密接）の回避、換気の励行など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
- ・ワクチンの効果は高いものの、**100%感染を防ぐものではありません。2回のワクチン接種後に、コロナに感染した事例が複数確認**されています。接種を終えた方も、引き続き感染防止対策をお願いします。
- ・県外との往来や家族以外の人との会食など、感染リスクが高い行動の後には、家庭内でも不織布マスクを着用して過ごしましょう。

2. 会食等について

- ・マスクを外した会話・会食・カラオケが、**最大の感染リスク**です。
- ・会食は、新型コロナ対策認証施設等、感染対策が講じられたお店で、少人数・短時間、マスク飲食などを徹底して行ってください。テイクアウトや弁当も活用しましょう。

[地域保健福祉課 29-1268]

■ 新庄病院改築整備工事の進捗状況について

県病院事業局では、令和5年秋の開院に向け、最上地域唯一の基幹病院となる県立新庄病院の改築整備を進めています。現在は基礎の免震装置の設置が完了し、1階床スラブの梁鉄筋・型枠の組立作業を進めております。組立が完了した箇所から順次コンクリート打設を行います。10月からは病院棟にエネルギーを供給する別棟のエネルギーセンター棟の鉄骨建て方工事も始まります。

鉄筋コンクリート造一部
鉄骨造、地上6階建て(免
震構造)、床面積 25,818
㎡、病床数 325 床



今後、敷地内に病室のモデルルームを作り、使い勝手や仕上げを検討することとしています。

工事は今年3月に着手し、令和5年3月末完成の予定です。[県立新庄病院 新病院整備課 22-5525]

東北農林専門職大学(仮称)の開学に向けて

令和6年4月の開学を目指す東北農林専門職大学(仮称)の校舎の基本設計概要が公表されました。校舎は交流棟と教育・研究棟で構成され、アカデミックな風合いを備え、地域住民にも親しまれる地域のシンボリックな施設とする計画です。

最上総合支庁では関係機関と連携して、学生の実習受入候補者の選定のほか、住居などの受入体制や大学と連携した地域振興策の検討を進めています。

[農業振興課 29-1319]



校舎外観イメージ図
— 設置場所：現在の農林大学校敷地内(新庄市)—

発行日：令和3年10月8日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

